

京丹後市学校再配置基本計画(素案)説明会

- 1 開催日時 平成21年7月21日(火)午後7時30分～午後9時10分
 - 2 開催場所 京丹後市網野教育会館
 - 3 出席者 中山市長、米田副市長、大下副市長、米田教育長、藤原財務部長、渡部企画総務部長、水野教育次長、高橋教育理事、藤村企画政策課長、石嶋市民協働課長、岸本網野市民局長、谷口網野市民局長補佐、栗倉教育総務課長、増田学校教育課長、安達社会教育課長、小西指導主事、土出社会教育課長補佐 計17名
地元出席者 19名
- 報道 毎日新聞 京都新聞
- 4 内容
 - (1) あいさつ
 - (2) 資料説明 ①京丹後市学校再配置基本計画(素案)
②京丹後市立学校施設の耐震化計画(素案)
 - (3) 質疑応答

5 要旨

市長あいさつ、京丹後市学校再配置基本計画(素案)説明、京丹後市立学校施設の耐震化計画(素案)説明 省略第一回目を参照。

質疑応答

(出席者)

郷小学校は、網野南小学校へ統合になるわけですが、通学路のことで距離なども説明もありましたが、この郷小学校から通う子供たちは網野南小学校までは徒歩通学になるのですか？

(教育次長)

先ほど、教育長から説明がありましたとおり片道で3キロを超える集落につきましては通学支援をしたいと考えております。

郷地区については3キロを越えると判断していますので、郷地区、生野内地区については4キロ以上になるということから、郷地区・生野内地区につきましては、スクールバス等の通学支援を行いたいと考えております。

(出席者)

郷地区の隣に高橋地区がありますが、一軒はさんで隣であるのに、距離によって郷地区はスクールバスで、隣の地区は徒歩通学ということになっては不公平が出るのでは・・・。

(教育次長)

3キロを基本にしていますが、すぐ隣など様々な状況に応じて判断させてもら

いたいと思っています。

(出席者)

前回の説明会以降11項目の意見書を出させてもらった。通学路の整備について、特に冬場の通学路の安全性を確保するため、道路の整備をお願いしたい。道路に付帯する安全施設・歩道・自転車専用道路について、必要な整備を行うとなっているが、具体的にどのようなことをするのか。いつごろできるのか。

(市長)

通学路の安全確保は、とても大切な内容で、子どもの安全に問題があってはいけないと思っています。具体的な案はこれからですが、先ほどもスクールバスの質問がありましたが、3キロを基準としながらも、3キロ未満であっても通学路の状況とかその他の条件を総合的に考慮して、教育委員会を中心に住民の皆様の意見を聞いて考えていきます。たとえば、バス通学となってもどういった形でやるのか、歩くということも大切なことなので、例えば小学校まで集まってから行くなどいろいろな選択肢があるのではないかと思います。具体的な実施までに十分検討の時間を持ちながら考えていきたいと思っています。また、それにあわせて踏切の拡幅の問題もあります。通学路は、工夫して舗装を加えながらやっていくというやり方も考えられると思いますが、バス通学、通学路の問題は、冬季であっても安全確保できるように調査して対処したいと思っています。郷小と南小の再配置には、通学の安全確保が大きな課題だと思っています。

(出席者)

南小の地域の新庄は何キロくらいですか？

(教育次長)

新庄区も3キロを超えています。

(出席者)

新庄区も郷区と同じようにスクールバスをだすのか？

(教育次長)

新庄区も3キロを超えますので、同じようにスクールバス等の通学支援をしたいと思っています。

(出席者)

郷地区の皆さんは、再配置の件は大体理解していると思います。しかし、子供たちの安全な通学のための通学路の確保が最大の願いです。特に、冬場の道路、網野の踏切、一日も早い道路整備をお願いしたいと思います。地域を代表してお願いしたいと思います。

(市長)

26年度ということで少し余裕があるのですが、一番早いタイミングでやっていきたいと思っています。特に、小学校の再配置に向けてであれば、先ほどもいいましたように、通学路確保の問題の観点から具体的に検討を進めていきたいと

思っています。

(出席者)

府道17号線の郷地域間での事故状況を調べたところ、20年度でも13件あります。それ以外でも届け出ていないものもあると思います。非常に危険な道路と理解されているようですが、改善できる方法がないということです。

郷小学校は、他の小学校に比べて比較的新しく、情報通信機器の充実や耐震整備もできている。それでもあえて地域は、子供のことを考えて再配置をするということについて理解していただいている。子供たちの安全面だけは必ず確保していただきたい。

(教育長)

安全確保の必要性は十分理解しています。職員等でもチェックして、道路整備をするならどういった方法があるのか、また制度が活用できるのかを考えながら検討していかなくてはならないと考えております。また、コンピュータールームとか情報機器の件につきましては、京丹後市にも非常に力を入れていただいて、南小に行っても現在よりもっとよくなるよう時代にあった形にしていくプログラムを作っています。

先ほど、新庄区もスクールバス等の通学支援になるのかという質問がありましたが、現在既に、スクールバス通学になっております。付け加えさせていただきます。

(出席者)

スクールバスの問題で、隣同士、その又隣と広がっていくのではないかと、また、授業の途中で体の調子が悪くなったとき、親が迎えに行くのか、バスを運行してもらえるのか？部活をするといった場合、バスは運行するのか？

通学路にかかわってですが、田んぼ道を整備されるわけですが、今度は逆に人通りが少なくなってしまう夜間は特に危険ではないのか？

今の道路でも高橋のところへは特に信号をつけてほしいと要望もしている。現在、7時45分から8時15分の間で505台の車が通ります。その中を中学生が自転車で通っており非常に危険です。その辺を十分に検討していただきたいと思います。

(教育総務課長)

今、意見がありましたスクールバスの運行の件ですが、小学校につきましては、朝は1便です。帰宅便になりますと2便走らせております。小学校になりますと、月・火・木・金曜日は、低学年が午後3時、高学年が午後4時30分、水曜日につきましては、低学年・高学年ともに午後2時25分、冬の帰宅時間につきましてはもう少し早い時間になります。中学校につきましては、クラブ活動をする子、しない子とありますので、帰宅便は2便あります。

(市長)

通学については、機能的な対応がどこまでできるのかよく相談させていただきたいと思います。3キロ通学距離につきましても、具体的にどうするのか、教育委員会を中心にいろいろ検討していくこととなりますが、ひとつは、今まで通り小学校まで集まるといった選択肢はあると思います。また、停留所などを設けるといった案もあります。一番いいやり方を相談しながら決めていきたいと思えます。小学生がスクールバスではなく徒歩通学といった場合、農道になっているところを整備して通学路として確保したいと考えています。どちらをベースにするとしても子供の安全というのが一番大切だと思っています。子供たち、地域の皆さまを含めて、安心していただけるような環境を整えてやっていかなければならないと思っています。

(出席者)

現在、子供たちの通学路で道路上での陥没の危険があるので、きちんと工事してほしい。また、自転車通学になるとヘルメット装着になりますが、その費用も市のほうで全額補助していただけるのか？自転車通学については、自転車も買わなくてはならない。バス通学の子たちは買わなくてもいいとなるので、自転車の補助はしていただけるのか検討してほしい。

(市長)

道路工事は、工事中から落ち度がないようにしっかりします。

(教育次長)

通学用のヘルメットは、今現在でも補助が出ています。

(出席者)

郷小学校は、今後有効に活用できるように検討してほしい。地域以外の人にも活用していただけるようにしてほしい。

(教育長)

施設の跡地利用については、住民の皆様の意見を聞いて一番使いやすく一番役にたつ方法を考えていく方針をもっています。学校が残る場合では、その教室を使った子供の体験学習の場などに活用していきたい。

6 閉会あいさつ(米田副市長)

【閉会 21時10分】